

DPPプロバイダー比較表

すでに実装されており、確認可能な機能にのみチェックマークを付けてください。発表や意向表明にはチェックを入れないでください。「Transpareo」の欄にはあらかじめ値が入っています。残りの2つの空欄は、他のプロバイダーを検証する際にご自身で記入してください。各基準に関する説明と出典は、文書の末尾に記載されています。

更新日：10.09.2026

法律で義務付けられている

基準	Transpareo		
オープンで標準化された形式によるデータ交換 パスデータはオープンスタンダードを通じて取得可能であり、特定のベンダーのソフトウェアだけでなく、権限を持つあらゆるシステムで読み取ることができます。 EN 18216	☒	☐	☐
プロバイダーに依存しない、一意かつポータブルな識別子 製品の識別子はプラットフォームではなく製品に紐づいているため、プロバイダーを変更してもパスポートの識別子は変わらない。 EN 18219	☒	☐	☐
物理的な記録媒体、永続的に読み取り可能 商品に貼られたQRコードをスキャンすれば、どのブラウザからでもパスにアクセスできます。アプリもアカウントも不要で、どのスマートフォンからでも利用可能です。 EN 18220	☒	☐	☐
最低保存期間にわたる保存およびアーカイブ 公開された各バージョンは、法律で定められた期間中、引き続き閲覧可能です。現在のバージョンだけでなく、過去のバージョンも同様です。 EN 18221	☒	☐	☐

基準	Transpareo		
ライフサイクル管理および検索機能向けAPI このプログラミングインターフェースは、パスポートを読み取り、作成し、検索する機能を備えており、単にクリックするだけのWebインターフェースではありません。 EN 18222	☒	☐	☐
相互運用可能なデータモデル パスデータは、他のシステムがフォーマット変換なしで読み取れる共通のモデルに従っています。 EN 18223	☒	☐	☐
3段階のアクセス権限モデル 公開データ、認可データ、行政データは明確に分離されており、各ユーザーは自分がアクセス権限を持つ情報のみを正確に閲覧できます。 EN 18239	☒	☐	☐
データの真正性および完全性の証明 各バージョンは二重に署名されており、ブラウザ上で検証可能です。当社を信頼する必要はなく、データのみに基づいて検証できます。 EN 18246	☒	☐	☐
EU委員会登録簿との連携 登録および公的証明書の提出 — EUが技術的なインターフェースを公開次第。現時点ではまだ公開されておらず、どのプロバイダーも現時点ではこの要件を満たすことはできません。	☐	☐	☐
法定期間を超えて登録データを保管すること 変更不可能な10年間のアーカイブ — メーカーもTranspareoも、後からバージョンを変更することはできません。	☒	☐	☐
各ターゲット市場の公用語による製品データ 必須記載事項は、製品が販売される各国の公用語で表示されます。つまり、EU全域で販売される場合は、国内市場だけでなく、24の公用語すべてで表示されることになります。	☒	☐	☐

DPPデータベースの運用に有用

基準	Transpareo		
EU以外の言語 EUの24の公用語に加え、さらに16の言語——計40言語——を、EU域外のターゲット市場向けに提供しています。	☒	☐	☐
バージョン管理と変更履歴 変更が行われるたびに、製品ライフサイクル全体を通じて、日時と作成者が明記された、追跡可能な新しいバージョンが生成されます。	☒	☐	☐
製品ファミリー向けの拡張可能な量産ライン ExcelまたはCSV形式で製品データをアップロードし、必須項目に割り当てる——大量データの場合は、さらにバルクAPIも利用可能です。	☒	☐	☐
ロールベースの内部権限管理 企業内で誰がどのデータを管理・公開できるかは規定されており、外部関係者に対するアクセス権も厳格に制限され、期間を定めたものとなっています。	☒	☐	☐
契約期間終了後の保管 退会しても、公開済みのパスは変更不可能な10年間のアーカイブで引き続き閲覧可能です。	☒	☐	☐
独自の暗号鍵を用いた署名 Bring Your Own Key：秘密鍵はお客様ご自身で管理いただき、弊社は独立した副署のみを追加します。	☒	☐	☐
プラットフォームに依存しない出展者のアイデンティティ 出展者アカウント「DID:web」は、当社のドメインではなく、ご自身のドメイン上に設置されます。プロバイダーを変更する場合は、DNSの移行が必要となります。	☒	☐	☐
プロバイダーを介さずに、第三者による検証が可能 オープンソースのレンダラーは、当社のサーバーに接続することなく、ブラウザ内でハッシュと署名を検証します。	☒	☐	☐

望ましい追加機能

基準	Transpareo		
データを失うことなくプロバイダーを変更する 移行の際には、署名済みで自己検証可能なオープン形式のパスポートデータ式を持ち出せます。契約終了後も、必須のパスポートデータは、データ損失なく、変更不可能な10年間のアーカイブから引き続きアクセス可能です。	☒	☐	☐
データの孤立を防ぐ、既存システムとの連携 署名付きWebhookと一括APIにより、Passを貴社のシステムに連携させることができます。特定のERP向けの既製のコネクタは用意されていません。	☒	☐	☐
EUの義務要件を超えるバッチインポート・エクスポート 大量のデータは、必須項目だけでなく、双方向に移動させることができます。	☒	☐	☐

セキュリティとプライバシー

基準	Transpareo		
独立したデータベースと独自のキー お客様のデータは専用のデータベースに保存されており、独自の鍵で暗号化されています。データベースレベルと暗号化レベルで分離されています。	☒	☐	☐
暗号化とバックアップ すべての接続でTLSを採用し、機密データにはAES暗号化を適用し、鍵のローテーション機能を備えた暗号化バックアップを実施しています。	☒	☐	☐
セキュリティイベントログ ログインの試行、MFAの認証要求、およびAPIキーのアクティビティはログに記録され、1年間保存されます。	☒	☐	☐
多要素認証 すべてのユーザーに対し、認証アプリ、パスキー、またはハードウェアキーを提供し、紛失に備えてバックアップコードも用意しています。	☒	☐	☐

基準	Transpareo		
ドイツにおけるISO 27001認証取得済みのホスティングサービス ドイツにあるサーバーで、厳格な物理的および組織的なセキュリティ対策が講じられています。	☒	☐	☐

経済・組織に関する事項

基準	Transpareo		
プロバイダーは、お客様に代わってEUへの登録手続きを行ってくれますか？ EUがインターフェースを公開次第、公式証明書を含む登録手続きを当社が代行いたします。お客様には一切の手間がかかりません。	☒	☐	☐
サポート業務の負担とサポート費用に関する明確な規定 Transpareoでは、サポートは料金に含まれています。別途のサポート契約や追加費用は一切かかりません。	☒	☐	☐
透明性の高い価格体系 あらゆる規模の企業に対応した4つのパブリックプラン、無料トライアル、いつでも解約可能——言語、製品、API呼び出しごとに隠れた追加費用は一切ありません。	☒	☐	☐

解説と出典

オープンで標準化された形式によるデータ交換 EN 18216

この規格では、デジタル製品パスポートがオープンで標準化されたプロトコルを介してアクセス可能であることが求められています。これにより、行政機関やパートナー、さらには自社のシステムが、特定のベンダーのソフトウェアに縛られることなくデータを読み取ることが可能になります。独自形式を採用した場合、それは「孤島」と化してしまいます。ベンダーがいなければ、自社のデータにアクセスできなくなってしまうのです。この規格は2026年7月15日付のEU官報（実施決定（EU）2026/1736）に掲載されており、これによりESPRへの適合性が推定されます。

Transpareoは、すべてのパスデータおよびインターフェースを、標準のHTTPSを介して、構造化された機械可読形式で提供します。特別なソフトウェアや独自プロトコルは一切必要ありません。公開される各バージョンにはさらにデジタル署名が付与されているため、受信者はデータを閲覧できるだけでなく、データが改ざん

されていないことを確認することも可能です。インターフェースに表示されるデータは、公開インターフェースを通じてアクセス権限を持つあらゆるシステムが取得するデータセットと同一です。

出典：EN 18216、「データ交換プロトコルに関する要件」：「標準化されたDPPアクセスには、規定されたデータ交換プロトコルを使用しなければならない。」

プロバイダーに依存しない、一意かつポータブルな識別子 EN 18219

すべての製品パスには、常に同じ製品を指し示し、特定の提供業者に依存しない一意の識別子が必要です。提供業者がその識別子を自社のインフラに紐づけてしまうと、提供業者を変更した際にパスの識別情報が失われてしまいます。そうすると、印刷されたコードや登録情報すべてが無意味なものになってしまいます。この規格は、2026年7月15日付のEU官報に掲載されています。

Transpareoは、お客様のGTINと連動した「GSIデジタルリンク」として識別子を付与します。これは、プラットフォームではなく製品に属するオープンな業界標準であり、各識別子は承認された規格スキーマに基づいて検証されます。署名IDは、当社のドメインではなく、お客様自身のドメイン上にDID:webとして配置されます。システムがダウンした場合でも識別子は有効なままです。恒久的なフォールバックアドレスが引き続き識別子を解決するため、プロバイダーを変更してもパスポートは同一性を維持します。

出典：EN 18219、第4.6.2(3)項：「一意の識別子は、特定の提供業者への縛りとなってはならない。」

物理的な記録媒体、永続的に読み取り可能 EN 18220

パスポート情報は、特別なソフトウェアがなくても誰でもアクセスできる機械可読形式のデータ媒体として製品上に記載されていなければならない。使用や修理を経た後も、製品の全寿命期間を通じて読み取り可能でなければならない。特定のアプリやアカウントを必要とするデータ媒体は、一般ユーザーの一部を排除することになります。この規格は、2026年7月15日付のEU官報に掲載されています。

Transpareoは、ISO/IEC 18004に準拠したQRコードを生成します。このコードにはGSIデジタルリンクアドレスが含まれており、どのブラウザでもログインやダウンロードを必要とせず、あらゆるスマートフォンからパスに直接アクセスできます。モデル、ロット、品目情報はすでにエンコードされたアドレスに含まれているため、スキャンするだけで適切な画面に直接遷移します。アドレスは永続的なフォールバック解決機能により安定しているため、一度印刷されたコードは製品のライフサイクル全体を通じて有効です。

出典：EN 18220、「データ媒体の要件（第5節）：記号、符号化、印刷品質および耐久性」；データ媒体は、複数回の使用および修復サイクルを経ても読み取り可能であり続ける必要がある。

最低保存期間にわたる保存およびアーカイブ EN 18221

この規格では、パスとそのバージョン履歴を、規制で定められた期間にわたって保存し、変更されることなく参照可能な状態に保つことが求められています。最新の状況のみを保持している場合、過去の情報の追跡可能性が失われてしまいますが、まさにその追跡可能性こそが、経済主体が当局に対して証明できなければならないものです。保存期間は各セクターの法令に従いますが、少なくとも10年間は保存する必要があります。この規格は2026年7月15日よりEU官報に掲載されています。

Transpareoは、公開されるすべての情報を、固定化され署名済みのバージョンとして、変更不可能なアーカイブに保存します。このアーカイブ内の情報は、後日、お客様も当社も、誰も変更や削除を行うことはできません。過去のバージョンも最新版と並んで閲覧可能であり、各バージョンにはタイムスタンプと署名が付与されています。これにより、任意の時点において、その時点でパスポートに何が記載されていたかを証明することが可能です。

出典：EN18221：「デジタル製品パスポートは、その全寿命期間を通じて、承認されたユーザーが利用できるように維持されなければならない。」

ライフサイクル管理および検索機能向けAPI EN 18222

ブラウザでの表示に加え、この規格では、パスポートの作成、読み取り、更新、および製品識別子による検索が可能なプログラミングインターフェースが求められています。このようなインターフェースがなければ、大量処理はすべて手作業に留まり、他のシステムではパスポートのデータを自動的に利用することができません。この規格は、2026年7月15日付のEU官報に掲載されました。

Transpareoは、バージョン管理された標準化されたインターフェースを通じて、規定された規格手法に対応しています：パスポートは、プログラム制御により作成、読み取り、更新が可能であり、製品識別子を用いてページ単位で検索することもできます。この際、署名済みのパスポートは変更されることなく出力されます。つまり、インターフェースは、検証者が署名を再計算できる正確なバイトデータを返すのです。

出典：EN18222：ESPRで要求されている、DPPのライフサイクル管理および検索可能性のための標準化されたプログラミングインターフェース（API）。

相互運用可能なデータモデル EN 18223

システム間やサプライチェーン全体でパスポート情報が整合するように、この規格では、各フィールドの意味が統一された共通のデータモデルを規定しています。ベンダー固有のモデルでは、各パートナーが独自の変換を余儀なくされますが、その変換のたびにエラーが発生する可能性があります。この規格は、2026年7月15日付のEU官報に掲載されています。

Transpareoは、並列かつ広く認められた専門用語集（GS1、EPCISなど）を用いた水平的な用語層を基盤としており、各データ項目について、その辞書およびデータ型への参照情報を付記して記述しています。これにより、受信システムはフィールドの名称だけでなく、その意味も把握できるため、フォーマット変換を行わなくてもパスは読み取り可能な状態を維持します。

出典：EN18223：DPPのシステム間相互運用性に関する共通セマンティックデータモデル。

3段階のアクセス権限モデル EN 18239

製品パスポートには、一般公開情報、認可された経済事業者向けのデータ、および行政機関専用のデータが含まれます。この規格では、これらのレベルを分離し、データフィールドごとに規定することが求められています。一般公開データは登録なしでアクセス可能でなければならず、それ以外のデータは審査を経た後のみアクセス可能です。EN18239は現在、最終承認段階にあります。

Transpareoは、データフィールドごとに「可視性」という属性を管理しています。一般公開レベルは認証なしで提供され、上位レベルは専用のログ記録付き行政機関向けインターフェースを介して読み取り専用アクセスで保護されており、保護されたデータへのあらゆるアクセスは監査ログに記録されます。したがって、この規格の3段階モデルは、事後的に追加されたものではなく、すでに現在のアーキテクチャに組み込まれています。

出典：EN18239（草案、最終承認待ち）：「公共データへのアクセスは、EU加盟国および非加盟国の関係者に対し、追加の認証を必要とせず可能でなければならない」；管理対象データへのアクセスには、認証済みかつ追跡可能なアクセスが必要とされる。

データの真正性および完全性の証明 EN 18246

この規格では、パスポートの真正性と完全性が証明可能であり、その検証が自由かつ無制限に行えることが求められています。信頼はプロバイダーの存続に依存してはならず、データセットそのものに根ざしていなければなりません。そうでなければ、どのパスポートも、それをホストしている企業の信頼性と同じ程度の信頼性しか持たないことになってしまいます。EN18246は現在、最終承認段階にあります。

Transpareoは、公開される各バージョンに2つの独立した鍵（発行者およびTranspareo）で署名し、ハッシュ値を用いてバージョンを連鎖させることで、履歴が気づかれずに書き換えられることを防いでいます。オープンソースのレンダラーは、当社のサーバーに問い合わせることなく、ブラウザ上で直接両方の署名を検証します。これにより、要求されている署名付きかつ自己検証可能な証明は、すでに実装されていることになります。

出典：EN18246（草案、最終承認待ち）：DPPデータの真正性、信頼性、および完全性は、証明可能でなければならない。

EU委員会登録簿との連携

今後、登録義務のあるパスポートはすべて、EUの中央登録簿に登録されなければなりません。同登録簿は、恒久的な登録IDと公式の登録証明書を発行します。EUはこれに関する技術的なインターフェースをまだ公開していないため、現時点ではどのプロバイダーもこの連携を証明することはできません。プロバイダーがそれを主張している場合は、確認を行うべきです。

Transpareoは、インターフェースが利用できない状況下で可能な範囲まで接続の準備を進めています。必要なフィールド（登録ID、安定したバックアップアドレス、バージョンハッシュ）は、データモデル内にすでに作成済みです。EUがインターフェースを公開次第、お客様のパスポートを再構築することなく、登録機能を有効化いたします。それまでは、当社を含め、誠実なプロバイダーであればどこでも、この項目は未解決のままとなります。

出典：DPP登録実施規則案（Ares(2026)4424976）。

法定期間を超えて登録データを保管すること

登録されたパスデータは、法的保存期間（通常は登録から10年間）の間、メーカーが破産したり事業を廃止したりした場合でも、変更されることなく利用可能な状態で保持されなければなりません。つまり、この義務は、プロバイダーとの契約期間やプロバイダー自体の存続期間を超えて継続するものです。

Transpareoは、この目的のために改変不可能なアーカイブを保持しており、一度書き込まれたバージョンは、メーカーも当社も、事後に変更または削除することはできません。このアーカイブは、EUへの登録と同時に自動的に有効になります。また、万が一Transpareoが将来存在しなくなった場合でも、アーカイブへのアクセスが維持されるよう、スイスの公証人による預託を通じてその存続が保証されています。

出典：DPP登録実施規則、第10条第3項（10年間の保存）。

各ターゲット市場の公用語による製品データ

パスポートに記載すべき必須情報は、製品が市場に投入される各加盟国の公用語で提供されなければなりません。製造元の所在地にある言語だけで済むわけではありません。自国市場のみを対象としている場合、他のすべての対象市場における義務を満たしたことはありません。

Transpareoは各パスポートを多言語で管理し、EUの24の公用語すべてで必須情報を提供します。お客様は内容を一度入力するだけで、言語ごとの追加費用や個別のパスポート管理を必要とすることなく、各言語版が自動的に生成されます。これにより、各ターゲット市場において、パスポートは規制に準拠した形で閲覧可能となります。

出典：電池規則（EU）2023/1542：製品が販売される加盟国の公用語によるデータ。

EU以外の言語

法的義務を超えて、EU以外の言語もカバーしたパスを作成することは、輸出市場や国際的な取引先、EUの公用語を話さない消費者にとって有益です。

Transpareoは、EUの24の公用語を含め、計40言語のバージョンを管理しています。コンテンツを一度入力するだけで、言語ごとに追加料金を支払うことなく、ご希望のあらゆる言語で出力できます。また、パスポートを管理するインターフェース（アプリケーションマネージャー）も全40言語に翻訳されており、利用可能などの言語でも情報を入力することができます。

バージョン管理と変更履歴

パスポートは製品のライフサイクルを通じて変更が加えられます。完全なバージョン履歴がなければ、どの時点のどの状態が適用されていたかを後から立証することはできません。そのため、規格ではパスポートへのすべての変更をアーカイブすることが求められています。

Transpareoは、公開される各バージョンを個別の署名付きバージョンとして固定し、誰が、いつ、どのフィールドを変更して生成したかを記録します。これにより、すべての情報は遡って検証可能となり、後日の修正によって履歴が上書きされることなく、履歴が継続的に記録されます。

出典：EN 18221：「デジタル製品パスポートへのすべての変更は、記録として保存しなければならない。」

製品ファミリー向けの拡張可能な量産ライン

類似した商品を多数取り扱っている場合、各商品情報の一つひとつ手作業で登録することはできません。実用的なシステムには、商品ファミリー全体を一度に登録する手段が必要です。

Transpareoでは、ExcelやCSV形式で製品データをアップロードし、必須項目に割り当てることができます。また、非常に大量のデータについては、プログラム制御で商品情報を作成するバルクAPIも用意されています。これにより、商品情報の作成は12件から数万件まで柔軟に対応可能です。

ロールベースの内部権限管理

企業内の全員が、すべてのパス情報を編集したり承認したりできるわけではありません。この規格では、アクセス履歴が記録される役割ベースの権限管理が求められています。

Transpareoは、役割やユーザーグループごとに権限を付与し、変更のたびにログを記録します。また、整備工場やリサイクル業者などの外部関係者に対しても、厳格に制限された期間限定のアクセス権のみが付与されます。行政機関は、独立した読み取り専用インターフェースを介してアクセスし、そのすべてのアクセスは監査ログに記録されます。

出典：EN 18239（草案）、アクセス権管理：どの関係者がDPPデータを管理・公開できるかを規定する。

契約期間終了後の保管

保存義務は契約終了とともに消滅するわけではありません。登録済みのパスは、たとえそのプロバイダーを解約した場合でも、法定の保存期間中は存続しなければなりません。解約と同時にパスを無効化するプロバイダーは、利用者にコンプライアンス上の問題を残すことになります。

Transpareoでは、登録データと同様に、変更不可能な10年間のアーカイブでこれを管理しています。解約後も、恒久的なフォールバックアドレスを通じてパスが引き続き発行され、行政機関向けインターフェースは契約終了後のアーカイブから同じデータセットを読み取ります。すでに印刷済みのQRコードは引き続き有効です。

出典：EN 18221：アーカイブ版は、バックアップサービスプロバイダーにも保存されます。

独自の暗号鍵を用いた署名

秘密鍵を保有している者は、発行者の名義でパスを作成することができます。そのため、この鍵をプロバイダーに預けるのではなく、発行者自身が保管しておく方が安全です。

「Bring Your Own Key」を利用すれば、貴社は独自の署名エンドポイントを運用できます。Transpareoは秘密鍵を一切保持せず、独立した対署名を追加するのみです。これにより、各バージョンには互いに独立した2つの署名が付き、発行者署名はTranspareo自体では生成できないものとなります。

プラットフォームに依存しない出展者のアイデンティティ

検証者があなたの公開鍵を見つけられるようにするには、パスに公開された発行者IDが必要です。これがプロバイダーのドメイン上にある場合、あなたはプロバイダーに縛られることになります。プロバイダーを変更すると、すでに印刷されたコードはすべて無効になってしまいます。

Transpareoは、あなたのIDをDIDとして公開します：web上で、当社のドメインではなく、あなた自身のドメイン上に公開します。これにより、プロバイダーの変更は単なるDNSの移行となり、すでに印刷されたコードとその検証結果は有効なまま維持されます。さらに、公開時点のすべての公開鍵を永続的なアドレスにミラーリングするため、元のホストが消滅した場合でも、どのバージョンも検証可能のままとなります。

出典：EN18219、第4.2.2節（永続性）：識別子はライフサイクルを通じて維持され、Webドメインは譲渡またはリダイレクトが可能である。

プロバイダーを介さずに、第三者による検証が可能

信頼性を判断する決定的な基準は、第三者がプロバイダーのインフラに依存することなくパスポートを検証できるかどうかである。この規格では、検証者が有効性と完全性の検証を、無料で、かつ制限なく行えることが求められている。

Transpareoは、この目的のためにオープンソースのレンダラーを公開しています。このレンダラーは、任意のソースからバージョンのバイトデータを読み込み、ハッシュを再計算し、両方の署名をパスに記載された公開鍵に対して検証します。ログインも、当社への電話も、稼働中のプラットフォームへの依存も一切必要ありません。疑わしいと思われる方は、ソースコードをご確認いただけます。

出典：EN18246（草案）：「DPPデータの有効性および完全性の検証は、検証者にとって無料で、かつ制限なく行えるものでなければならない。」

データを失うことなくプロバイダーを変更する

乗り換えを困難にするプロバイダーは、利用者のデータを拘束していることになります。そして、契約終了時にそのデータがどうなるかが、自由に乗り換えができるかどうかを決定づけるのです。そのため、この規格では、プロバイダーに縛られることなく、オープンで相互運用可能なネットワークを介してデータを転送できることが求められています。

Transpareoは、規制上のパスポート関連データを最初から、オープンで公開ミラーリング可能な領域に保存します。簡単な同期操作を行うだけで、公開された鍵を用いて自動的に検証される、完全かつ署名済みのコピーが生成され、当社による介入は一切必要ありません。完全なイベントアーカイブは、署名済みで有効期限付きのダウンロード用URLを通じて、お客様または新しいプロバイダーに提供します。また、上流の製品カタログはJSON-LDおよびCSV形式でも提供します。契約終了後も、登録済みの必須パスポートは、改ざん不可能な10年間のアーカイブを通じて引き続きアクセス可能です：公開ミラーサイトとアーカイブは常に同期され、同一のデータセットを提供し続けます。すでに印刷済みのQRコードは、永続的なフォールバックURLを介して引き続き有効であり、登録参照は新しいURLを指し示します。これにより、データ損失や法的保存義務の違反を招くことなく、契約を終了することができます。

出典：EN18216：データは「特定のプロバイダーに依存しない、オープンで相互運用可能なネットワークを介して転送可能」でなければならない。

データの孤立を防ぐ、既存システムとの連携

プロバイダーのインターフェース上にのみ存在するパスは、他のシステムとは切り離された「データサイロ」となってしまいます。その結果、変更のたびに同じ内容を2か所で管理しなければならなくなります。

Transpareoは、署名付きWebhookを介してイベントを通知し、Bulk-APIを通じてデータの読み書きを可能にするため、このパスを自社のシステム環境に統合することができます。特定のERPシステム向けの既製のコネクタを意図的に提供していません。オープンで署名付きのインターフェースは、特定のシステムを優先するのではなく、あらゆるシステムに対応できるからです。

EUの義務要件を超えるバッチインポート・エクスポート

収集したデータをパス以外の場所でも利用したい場合は、法的義務で定められた必須項目以外にも、データのインポートおよびエクスポート機能が必要となります。

Transpareoは、Excel、CSV、およびBulk-APIを通じて大量のデータを受け入れ、同等の範囲で出力します。これにより、本システムはEUの義務要件を満たすだけでなく、お客様の独自のデータ管理にも役立ちます。

独立したデータベースと独自のキー

共有データベースでは、お客様のデータが他の顧客のデータと関連付けられてしまいます。そのため、明確かつ追跡可能な分離を行うことはほぼ不可能であり、GDPR第17条に基づく削除請求権を立証することも困難になります。

Transpareoでは、各顧客のデータは個別のデータベースに格納され、固有の鍵で暗号化されています。つまり、データベースレベルと暗号化レベルの両方で分離が図られています。これにより、検証可能な削除を通じて削除権が満たされます。ホスティングはドイツ国内で行われており、データ処理委託契約（AVV）も含まれています。

出典：GDPR第17条（削除権）。別個のデータベース、独自のキー、および検証可能な削除により、この要件を満たしています。

暗号化とバックアップ

サービスプロバイダーは、データの転送時および保存時にデータを保護し、障害から守る必要があります。GDPRでは、このために技術的水準に即した措置を講じることを求めています。

Transpareoは、すべての通信をTLSで暗号化し、機密性の高いアプリケーションデータをAESで暗号化しています。バックアップはGPGで暗号化され、定期的な鍵のローテーションにより更新され、4時間ごとに作成され、別のサーバー上で12か月間保管されます。

出典：GDPR第32条（処理の安全性）：TLS、AES、およびローテーション機能付き暗号化バックアップ。

セキュリティイベントログ

セキュリティに関連する事象——誰がいつログインしたか、鍵がどのように使用されたか——は、追跡可能でなければなりません。NIS-2指令では、これに対応する監査ログの記録が義務付けられています。

Transpareoは、ログイン試行、MFAチャレンジ、APIキーのアクティビティに関するセキュリティイベントログを記録し、1年間保存します。これにより、NIS-2が定める監査ログに関する要件を満たしています。

出典：NIS-2指令（監査ログに関する要件）：記録されたセキュリティイベント、1年間の保存。

多要素認証

単一のパスワードだけではアクセス保護は不十分であり、NIS-2ガイドラインでは多要素認証によるアクセス制御が求められています。

Transpareoは、アプリケーションマネージャーのすべてのユーザーに対し、オーセンティケーターアプリ、パスキー、またはハードウェアキーによる多要素認証を提供しており、紛失時のためのバックアップコードも用意されています。お客様のアカウントに対して、MFAの適用を強制することができます。

出典：NIS-2指令（アクセス制御および多要素認証）。

ドイツにおけるISO 27001認証取得済みのホスティングサービス

サーバーの設置場所やデータセンターのセキュリティ対策は、データの物理的な安全性、そしてデータがどの法域に属するかを決定づける要素となります。

Transpareoは、ドイツ国内のISO 27001認証を取得したサーバー上でホスティングを行っており、厳格な物理的および組織的なセキュリティ対策が講じられています。また、ドイツという立地により、お客様のデータは完全に欧州法の適用下にあります。

出典：ISO/IEC 27001（情報セキュリティマネジメント）、ドイツにある認証取得済みのデータセンター。

プロバイダーは、お客様に代わってEUへの登録手続きを行ってくれますか？

EU登録への登録および公式証明書の取得は、繰り返し発生する手間ですが、これはサービスプロバイダーがお客様に代わって代行することができます。登録規則では、これを明示的に定めています。すなわち、サービスプロバイダーは委託を受けて登録手続きを行うことができますが、法的責任は事業者側に留まります。

Transpareoは、EUが技術的インターフェースを公開次第、お客様に代わってパスポートの登録を行います。お客様は法的に責任を負う事業者であり続けますが、実務上の負担を負うことはありません。インターフェースが公開されるまでは、このサービスを提供できる業者は存在しません。弊社では、そのために必要なデータをすでに準備済みです。

出典：DPP登録実施規則（草案）、第19条：登録手続きは、サービス提供者が委託を受けて代行することができるが、責任は経済主体が負う。

サポート業務の負担とサポート費用に関する明確な規定

一部のプロバイダーは、サービスの利用とサポートを分けており、サポート費用を別途請求します。その結果、最終的なコストを見積もることが難しくなります。

Transpareoでは、サポートは料金プランに含まれています。別途のサポート契約も、実費精算による追加時間料金もありません。お客様が必要とするサポートは、表示価格にすべて含まれています。

透明性の高い価格体系

営業の場で初めて明らかになる料金体系や、言語・製品・API呼び出しごとに事後請求される仕組みでは、実際のコストを予測することができません。

Transpareoは、企業の規模ごとに4つの料金プランをウェブサイト上で公開しており、無料の試用期間を設け、いつでも解約が可能です。言語、製品、またはAPI呼び出しごとに隠れた追加費用は一切なく、表示されている価格がそのままの価格です。